



上越地区大会初戦突破

30年ぶりに東頸代表として1勝を上げた松代中学校野球部
 対柿崎中戦2—0で勝利、対糸魚川中戦3—4で惜敗。
 「生徒はよくがんばりました」顧問の森田先生、井部先生談

水は貴重な財産です

昨年の町水道使用量は、350,695ℓです。
 これは、1ヶ月に29,224ℓ。これから、水の
 使用量が増える8月は昨年、33,429ℓでした。
 これは、1日あたり、1,078.3ℓと普段の月よ
 り145.6ℓ多く使います。

水は、蛇口を回せば出てくるのが当然—
 でも、災害や水不足が起きたとき、それは当
 たり前ではなくなります。人間はもとより、あらゆる動植物にとって必要
 なものは、まず水。水は生命の源です。「当たり前」なのではなく「水は
 大切なもの」として、ふだんから無駄遣いしないよう気をつけましょう。



蛇口をしめて次の人に交替です（松代保育園）

主な内容

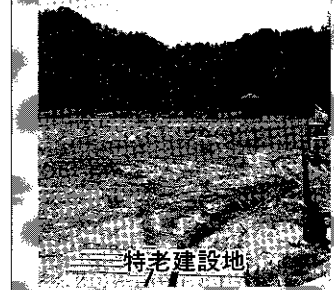
- 特別養護老人ホーム建設概要…②③
- 早稲田大学との交流20周年事業…④⑤
- 新農業委員決定…⑥⑦
- 里創プラン…⑧⑨
- 東京発・文芸、松代の自然…⑩⑪
- 町の情報・ふるさと見て歩き…⑫⑬
- みんなよく見てね・お知らせ…⑭⑮

住民待望の特別養護老人ホーム着工

以前から、老後を安心して住むために福祉施設を地元建設してほしいといった住民の要望が強くありました。

そして、今年いよいよ、特別養護老人ホーム建設に着手します。

今回は、念願の特別養護老人ホーム、仮称「ほくほくの里」の概要についてお知らせします。



特老建設地

建設予定地の経緯

施設用地の造成を早くから行う必要があることから、用地の選定を行う目的で「町特別養護老人ホーム企画建設協議会」（会長 石野英二 議会議長）を発足。平成9年10月31日に第1回目の会合を持ち、その後平成10年12月10日、第5回協議会において3地区に候補地をしばって答申をしました。

その後、国の緊急経済対策において、用地等条件の整っているものについて申請が可能であったことから、県立松代高校に隣接する太平洋向原地区に建設することにしました。平成10年12月21日、今回の基本となる最初の計画書を国および県に提出しました。

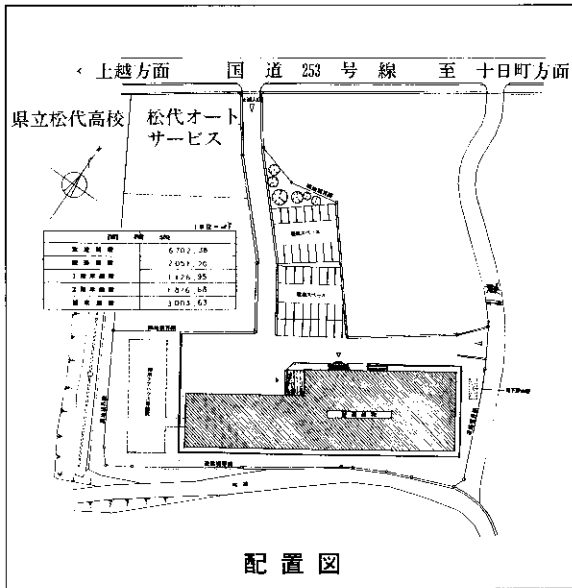
施設の概要

特別養護老人ホーム「ほくほ

くの里」（仮称）は、鉄筋コンクリート造2階建て、延べ3千平方メートル。1階は、事務室、会議室、ヘルパーステーションや厨房となつています。2階は、食堂、医務室、寮母室にベッド50床と短期入所用10床の60床と介護状況に応じた部屋の間取りとなっています。このほか屋根の雪処理は、融雪による方法をとつて

います。また、国道253号線からの出入口道路は、松代オートサービスに隣接して取り付け、駐車場を設けるほか、東側の農道からの乗り入れもできるよう計画しています。

事業費は、12億円を見込んでいます。なお、位置は右配置図のとおりで、建設内部は、3ペー



配置図

夏休み 253号線
車が混み合います

スピードは控えめに

夏休みは、県外ナンバーの車等帰省客で、国道253号線の交通量が増えます。運転する人は、安全速度で、歩行者や自転車に乗る子どもに注意して運転しましょう。

また、家庭や地域でも、自転車の乗り方、歩行や道路の横断について確認しましょう。

253号線事故発生状況 (1月～7月現在)

	件数	死者	傷者
東頸城 (H10.7月末)	21件 (20)	2名 (0)	27名 (25)
松代町 (H10.7月末)	5件 (6)	0名 (0)	7名 (9)

(資料：安塚警察署)



郡内での事故写真から

特別養護老人ホーム職員

平成12年9月オープン予定の特別養護老人ホーム「ほくほくの里（仮称）」の建設に伴い、社会福祉法人東頸福祉会の職員を次のとおり募集します。

◇職種および受験資格等 下表参照

◇応募できる人の居住範囲

通勤可能な人に限ります。

◇勤務場所 オープンする施設のほか特別養護老人ホーム「不老閣」および松代町、松之山町のデイサービスセンター施設。

◇採用選考期日

第1次選考（書類） 9月中旬

第2次選考（面接） 10月上旬

◇選考結果 1次選考結果は、全員に9月下旬、可否の通知をします。2次選考結果は、10月中旬に可否を通知します。なお、2次選考会場は松代町役場を予定。

◇職員採用予定日

平成12年8月1日

◇応募の方法

松代町役場住民課内特別養護老人ホーム建設準備室に用意してある受験申込書にて申込む。

◇申込期限

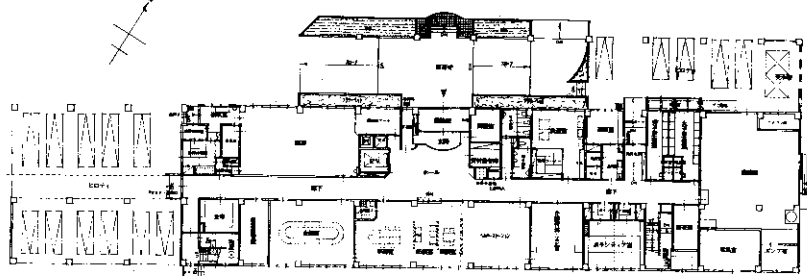
9月10日（金）郵送の場合は、10日消印のあるものは有効とします。

◇受験申込及び問い合わせ先

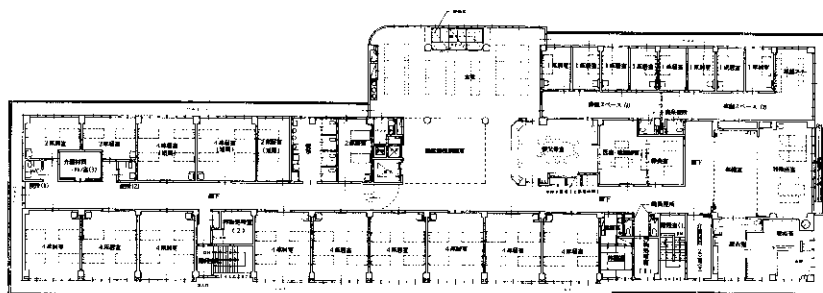
松代町役場住民課内特別養護老人ホーム建設準備室（☎02559-7-2220内線28）〒942-1592 東頸城郡松代町大字松代3252-1

職種および受験資格

職 種	採 用 予定数	応 募 資 格	
		資 格・免 許	年 齢・H12・4・1現在
事 務 員	1 名	高校卒業以上の学力を有し自動車運転免許、ワープロおよびパソコン操作のできる人	30～50歳
生活相談員	1 名	社会福祉主事又は同等以上の有資格者で、自動車運転免許を有する人	20～50歳
看護職員	2 名 臨時1	看護婦又は、看護婦免許を有する人または資格取得見込みの人	20～58歳
介護職員	15 名 臨時1	健康で入所老人の介護に耐える体力と愛情、熱意のある人	18～50歳
栄養士	1 名	管理栄養士または栄養士の資格を有する人	22～45歳
宿直代行員	パート2	自動車運転免許を有する人	18～62歳
日直代行員	パート2	自動車運転免許を有する人	18～60歳



1階平面図



2階平面図

○運営主体

この特別養護老人ホームの運営は、松之山町の「東頸福祉会」が、すでに同町内で開所している「不老閣」とあわせて行うこととなります。

これは、町独自の法人を新たに設立するには許認可に時間がかかること。また、新たな法人をつくっても、事務部門の人材の人材育成にさらに時間を要することが課題としてあげられていました。そこで、町ではすでに「不老閣」の運営で実績のある東頸福祉会に、「ほくほくの里」（仮称）の運営について依頼したものです。「今回の建設は、同福祉会の協力により実現したところが大きい」と町内の関係者も同法人の協力的な姿勢を高く評価しています。なお、同法人は、松之山町が最大の出資者で、一

部を他の郡内5町村が出資している法人です。

こうして同法人の協力により運営は行われますが、経理上は独立採算性であり、松代の施設の費用は、松代町がまかなうこととなります。

○遺跡への対応

町では、建設予定地が平成10年度の向原遺跡調査地区を一部含むことから、県と協議をしました。その後、11年度調査を早め、すでに調査を終了しました。建設工事では、遺跡を損傷することのないよう計画予定地を盛り土したうえで、建設することになりました。

名称募集

今回建設の特別養護老人ホーム

平成12年9月開所予定の特別養護老人ホーム「ほくほくの里」（仮称）の名称を募集しています。施設にふさわしい親しみのある名称を募集しています。応募方法は次のとおりですので、奮ってご応募ください。

＜応募方法＞官製ハガキに1枚に1点の名称をご記入ください。なお、ハガキには住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記してください。

＜募集期限＞

9月24日（金）当日消印有効

＜景品＞採用分（応募多数の場合は抽選による）には、景品を差し上げます。

＜発表＞広報11月号掲載

＜応募先・問い合わせ＞

左記表上の中込欄と同じ

交流を深める

田沢・菅刈・八王子の子ども達

7月23日～26日にかけて、田沢・菅刈の子ども達と八王子市職員組合が募集した4年生以上の子ども達18名が、旧菅刈小学校を中心に3日間体験学習をしながら交流を深めました。

今年で、夏開催の交流事業は3回目となり、地元の子ども達も慣れた様子。というのも、八王子市職員組合の交流事業を担当している方が当初から関わっていることが大きいようです。そうした、配慮もあって、子ども達はお互いにすっかりうちとけ、交流を楽しんでいました。



みんな集まって記念写真

将来早稲田に行くぞ。松代もいいとこだ。

早稲田大学との交流20周年事業



町内3校の小学校児童67名が7月23日～26日にかけて同大学理工学部が行っている科学実験「ユニラブ」を体験。今回は、学校の体験授業として訪問しました。「期間中は、グループによる行動で、日程の計画、移動からすべて児童に任せて行いました。引率の教職員は、そうした行動を後ろでフォローすることに徹しました。なによりも普段の生活とは違う体験から自分達で判断し行動することの大切さを身につけてほしいと思いました。」とは、今回の事業責任者として引率にあたった松代小萬羽校長先生の言葉。

特別に、大隈講堂にも入り、「将来は、早稲田へ行くぞ。」と夢をふくらませたり、「いろいろな人がいっぱいいたけど、やっぱり松代もいいところだよ。」と話す児童もいました。「子どもは、一回りたくましくなったのではないのでしょうか」とは、引率にあたった先生の言葉。その分先生方は、やせたのではないのでしょうか。(事務局)

声援を受けて水しぶき

町内小学校親善水泳大会開催



選手宣言をする奴奈川小6年斉木智美さん

「んばります」と、暑い中を力強く宣誓していました。なお、各種目の1位は次のとおりです。

7月23日、町民第1プールで、松代町小学校親善水泳大会が行われました。大会は、今年で第20回となりました。

当日、大会会長の松代小萬羽校長先生は「最近、上越大会参加記録に近づいてきています。今回も好タイムが期待できそうです。一つ上の大会を目指してがんばってください」と、また、高橋教育長は「まだプールでの授業がはじまったばかりで、練習不足もあるでしょうが、ベストをつくしてみなさんががんばってください」と、それぞれ児童にエールをおくっていました。

選手を代表して、奴奈川小6年生斉木智美さんは「精一杯が

▼50m自由形女子5年佐藤愛(奴小)・6年斉木智美(奴小)／男子5年五十嵐太博(松小)・6年鈴木康彦(松小)▼25m自由形女子5年鈴木智美(松小)・6年山本睦美(孟小)／男子5年中沢成一(奴小)・6年斉木明徳(孟小)▼50m背泳ぎ女子6年斉木智美(奴小)／男子5年斉藤裕太(松小)▼25m背泳ぎ女子5年佐藤恵(奴小)／男子5年中沢成一(奴小)・6年石田道春(孟小)▼50m平泳ぎ女子5年佐藤愛(奴小)・6年小嶋ちえみ(孟小)／男子6年富澤雅人(松小)・5年五十嵐太博(松小)▼25m平泳ぎ女子5年佐藤愛(奴小)・6年山本睦美(孟小)／男子5年柳隼人(孟小)・6年斉木重樹(孟小)▼25mバタフライ6年女子岩崎知里▼混成200mリレー孟地小3分04秒67(大会新)▼女子200mリレー松代小▼男子200mリレー

元気に百歳

松山センさん (犬伏・あめや) 上寿を祝う



町長から「上寿の祝詞」を受け取る松山さん

7月14日、関谷町長は、犬伏あめやさんを訪れて、この日めでたく百歳を迎えた松山センさんを表敬訪問しました。

明治32年生まれ、松山さんは「最近、ちょっと足腰が弱った」とはいうものの達者そのものでした。

誕生日となるこの日は、近所にお住まいの妹の柳ヨシさん(屋号げんぞう)も駆けつけたとのこと。妹の柳さんも92歳。ご家族の方と一緒に百歳を祝っていました。

松山さんに元気な秘訣をたずねると「好き嫌いをなく何でもたべること」だそうです。ちなみに好物は、魚だそうです。

現在は、「ひ孫の舞ちゃん(6)」と拓也君(孟地小1)相手に、7人家族、毎日にぎやかに過ごしています、とのこと。

なお、百歳以上の方は、町内で3人となります。

これからも、末永くお幸せに、長生きをしてもらいたいものです。そして、かわいいひ孫さんをはじめ、子どもたちに昔話をしてあげてください。(事務局)



保育園からかけつけた舞ちゃんと



「食べて食べて」うすきさんレース

食入を小学生が手伝ってくれるなど、地域の皆さんに支えられ、楽しい運動会でした。

7月15日、総合体育館において第24回松代町高齢者スポーツ大会が行われました。これは、町老人クラブ連合会(小堺陽七郎会長)主催によるもので、当日は、選手や応援をする人を含め500人がタル転がしリレーやスリッパ飛ばしゲームなどアイデア

アといった7種目を楽しみました。在宅介護支援センターの数井保健婦は、「こうして毎年集うことは大切で意義あることです。普段から適度な運動をし、仲間づくりをしながら、それぞれの地域で支えあって、健康づくり

をすすめてもらいたいものです」と話していました。なお、結果の方は、奴奈川チームが総合優勝。優勝チームを中心に8月20日、牧村で行われる郡大会に参加の予定です。ご健闘をお祈り申し上げます。(事務局)



応援にも熱が入りました

健康がなにより

町高齢者スポーツ大会開催



団旗を受け取った若井光男君と誓いの言葉を述べた鈴木牧子さん

7月21日、松代小学校の体育館で、松代町緑の少年団の団結式が行われました。この少年団は、森林の学習活動とおして自然に親しむことを目的に昭和49年に結成されたのがはじまりです。県内では、市町村単位に結成。その数は、現在54団にのびります。

今回、同小学校をモデルに5・6年生を対象に58名の団員で発足しました。団結式では、緑の少年団育成会長の関谷町長は「人間が生き延びるために必要な酸素を得るには、人間・人に17本の木が必要で、自然豊かな松代で、野外活動とおして、これまで以上に森林について学んでください」とあいさつ。また、上越林業事務所の皆川林業課長は「森林は、緑、空気、動物を育てて

います。また、みなさんの頭を良くするフイトンチッドがふくまれています。算数が苦手な人には、森林で遊ぶことをすすめます。日ごろの学習も大切ですが、緑を育てはぐくむことも、大切です」とエールをおくっていました。団員を代表して6年生の鈴木牧子さんは「緑の少年団の一員として、自然を愛し緑を大切にします」と誓いの言葉を述べていました。

緑の少年団誕生

松代小で団結式

今回、同小学校をモデルに5・6年生を対象に58名の団員で発足しました。

団結式では、緑の少年団育成会長の関谷町長は「人間が生き延びるために必要な酸素を得るには、人間・人に17本の木が必要で、自然豊かな松代で、野外活動とおして、これまで以上に森林について学んでください」とあいさつ。また、上越林業事務所の皆川林業課長は「森林は、緑、空気、動物を育てて

ひとあし先に運動会 犬伏保育園



踊りに飛び入りも加わって

地方教育行政功労者表彰

関谷 力さん (松代・73歳)

関谷力さんが地方教育行政功労者表彰を受けられました。多年にわたる教育への功績が認められたものです。



《関谷力氏経歴》昭和53年10月教育委員（7年在職）、昭和60年10月から現在まで13年間教育委員長をつとめる。この間小中学校13校の統廃合があったほか複式学級の改善に取り組まれました。このほか昭和28年4月1日から今日まで45年間学校医として児童生徒および教職員の健康管理に力をそそがれ、側面からも学校教育へご尽力いただいています。

青少年健全育成功労者表彰

市川 明治さん (松代・77歳)

7月15日付けで、市川明治さんが青少年健全育成功労者表彰を受けられました。青少年育成のための組織を指導するなど青少年健全育成への功績が認められたものです。



《市川明治氏経歴》昭和55年に設立した町青少年育成町民会議に松代小学校長在職中から役員として参画。昭和59年より会長に就任して現在に至ります。

3年間の任期満了に伴う農業委員会委員の立候補届けが7月6日に行われました。
その結果、立候補者が委員定数と同数で、無投票となりました。農業委員会は、この選挙による委員10人と選任団体の推薦による委員3人の合計13人で構成されています。
なお、選任団体は町議会と十日町農協、人数内訳はそれぞれ2人と1人です。

新農業委員決定

任期は、平成14年7月19日まで
～農地のことなら
何でもご相談ください

問い合わせ：農業委員会事務局(役場3階)
☎7-2220 内線40、64

新委員の皆さん

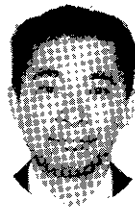
新委員による初会合を7月22日に行い、新しい会長および職務代理が決まりましたので合わせて紹介します。【敬称省略・1号議員より順に掲載 氏名・（）は年齢・地区・（）は、選任別】



むらやましげかず
村山重一(56)
室野〔選挙〕



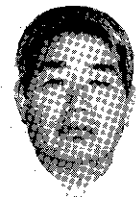
すずき たいちろう
鈴木太一郎(63)
松代〔選挙〕
会長職務代理



やまもとこういち
山本耕一(52)
大伏〔議会〕
会長



こさかいさだお
小堺貞男(63)
松代〔農協〕



いのうえかつお
井上勝夫(54)
小池〔選挙〕



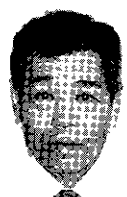
こやませいち
小山征一(61)
桐山丙〔選挙〕



まき たのぶじ
牧田信二(48)
峠〔選挙〕



むらやままさゆき
村山政行(61)
室野〔選挙〕



やなぎ てるお
柳 照雄(54)
芋島〔選挙〕



やまぎししげあき
山岸重昭(62)
蒲生〔選挙〕



やまが としお
山賀敏夫(54)
小屋丸〔選挙〕



いけ ださぶろう
池田三郎(67)
仙納〔議会〕



かさはら ひとし
笠原 等(50)
小荒戸〔選挙〕

農業委員の主な仕事

- ◆現在町には、47名が認定農業者として活躍しています。そうした認定農業者をはじめとした農業者への農地利用集積や経営改善支援を行います。
- ◆農業委員は、地域の「世話役」「規範」として農家の相談に応じています。
- ◆集落の声を集めて行政に建議、諮問に答申します。
- ◆地域農業と優良農地の保全確保、農地情報などの一元管理をすすめます。
- ◆農業者年金の加入と受給手続きのお手伝いをしています。
- ◆新委員からは、こうした仕事をとおして、今後の町農政や地域農業の指導的立場から大いに活躍していただくことになります。
- ◆農地流動化や農業後継者問題、農業者年金のことなど、気軽にご相談ください。

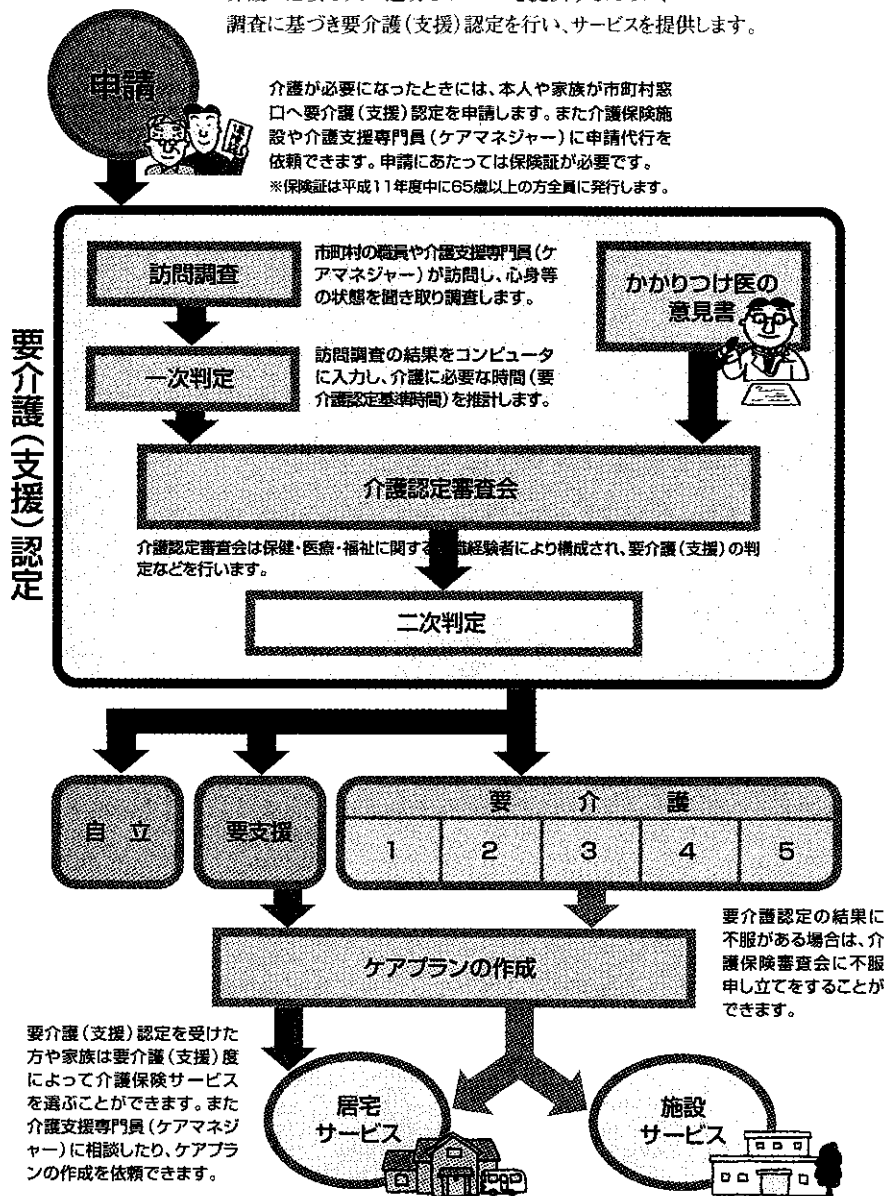
介護保険②

介護保険のサービスを利用するには、介護が必要な状態（要介護状態または要支援状態）であるという認定を受ける必要があります。今回は、申請から認定にいたる手続きについてお知らせします。

介護保険 Q&A

申請からサービスの利用まで

介護が必要な人へ適切なサービスを提供するために、調査に基づき要介護（支援）認定を行い、サービスを提供します。



《対象は認定者》
介護保険のサービスを受けることができるのは、寝たきりや痴呆、虚弱など介護が必要と認定された人です。

《申請》（受付は10月）
介護が必要になったら、役場介護保険係または在宅介護支援センター窓口で申請手続きを行ってください。

《認定までの流れ》

町は申請から30日以内に次の手順で要介護認定を行います。

- ① 調査員が家庭を訪問し、介護を必要とする人の心身状態を調査
- ② コンピュータによる判定
- ③ かかりつけ医が病気や負傷の症状を書いた意見書を作成
- ④ 介護認定審査会
- ⑤ ①③の結果をもとにどのくらいの介護を必要としているのか

の区分（要介護度）が決まります。当町を含め、この審査会を十日町広域6市町村で行います。審査会の委員は、保健・医療・福祉の専門家で構成されます。

⑤ 判定された要介護度の通知
要介護認定は、6つのランクに分かれ、介護サービスの内容や量を決める基準になります。また、認定は6か月おきに見なおされます。

《ケアプランの作成》
本人の心身状況や家庭の状況に適したサービスを受けられるようケアプラン（介護サービス計画）を作成します。作成にかかる費用は無料です。

《サービス利用の開始》
かかった費用の1割の負担で利用できます。一定額を超える場合、高額制度があります。

サークル紹介②

空手教室

空手教室は、会長の相沢勇さん（太平）、若月三秋さん（大伏）、柳伸宏さん（松代）の3人で指導に当たっています。

8月29日に五泉市で大会があり、大会に向けて練習をしています。

○練習日 毎週火曜日午後7時

○会場 総合体育館

○メンバー 24人

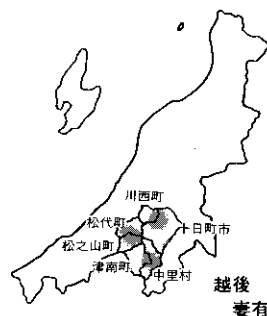
○問い合わせ 相沢勇さん（電話 7-2977）



指導にあたる左相沢勇さんと右柳伸宏さん

里創 プラン 通信

No. 8



公募によるアート作品、エントリィは303名

来年夏開催の大地の芸術祭では、招聘作家の作品とは別に広く一般からの作品を対象とした公募部門を設けています。4月から6月にかけて募集したところ、国内はもとより、リトアニアやイギリスなど海外からの応募も含め、303名（13の団体を含む）がエントリィしました。



松代ステージを見学する公募者

ト現地説明会」を開催しました。松代町には、7月20・21日と8月1・2日の2回に訪れました。公募作品は、一市町村1作品の計6作品を設置することになっています。単純に、50倍の競争率となり、関心の高さがうかがえました。それぞれの市町村の設置場所は次のとおりです。

松代町「松代大ステージ」、十日町市「下条神明水辺公園」、川西町「節黒城連絡道」、中里村「田尻の川原」、松之山町「松之山温泉入口駐車場」以上です。

今後の予定は、11月末、作品のデザインプラン提出締切。12月下旬、予備審査で30点に絞込み。年明け1月中旬、公開審査で6点を決定。そして、2月・7月に作品制作。そして、大地の芸術祭開催時、大賞1点（賞金300万円）を決定します。

川俣正氏の作品制作はじまる「松之山ステージ」

大地の芸術祭に向けて、松之山ステージでは、アーティストの川俣正さん（東京芸術大学教授）が松口集落内の林森を舞台に作品づくりをはじめました。

現場入りしたのは、川俣さんとボランティアの学生20人で、7月6日・15日までの10日間、中学校寄宿舎で自炊をしながら制作の拠点となる場所に遊歩道と現場作業小屋の設置をはじめたものです。

滞在中、地域と人々との交流会も開催しました。

川俣さんの作品づくりは、長期的な計画の中に、住民を含めた現地ワークショップ形式で行うのが特徴となっています。第2回ワークショップは、この10月以降にも予定していて、今回



拠点となる作業小屋づくり

設置した現場作業小屋を基点に作品制作を行うほか、廃屋の整備についても提案を行うことにしています。

「ステキ発見」応募ありがとうございました

昨年8月から実施してきた写真と言葉のコンテスト「越後妻有8万人のステキ発見」は、7月末に締め切りしました。おおぜいの方から応募いただきありがとうございました。

今後の日程は、8月下旬地元審査、9月中旬本審査、10月上

旬に入選通知をし、下旬に表彰、そして11月に巡回展を予定しています。なお、結果については、今後の広報紙面をご覧ください。

◎問い合わせ先 十日町地域広域事務組合企画振興課（☎0257-5712637）



沿線情報

●のぼり線（十日町方面）

◇六日町駅（運賃大人520円）

〈棟方志功とピカソ版画展〉▼

8月29日（H）まで▼ギャラリィ六

日町▼六日町駅下車東口▼ピカ

ソの名作「サンタンバンク・シ

リーズ」全15枚展示、駅の中の

小さな美術館です、月曜休館▼

大人300円、子ども150円▼六日町

観光協会（☎0257-721717）

定期券、

まつだい駅で買えます

定期券を扱っているのは、ふるさと会館1階の「土産処ふるさと」で扱っています。

〈方法〉

1、置いてある申込書に記入していただきます。

2、定期運賃を預かり、預かり証を発行します。

3、預かり証と引換えに定期券を渡します。

4、定期券は、受け付けた週の翌週月曜に「土産処ふるさと」で引き換えることになります。

◎問い合わせ 「土産処ふるさと」

（電話7-3912）

まつだい駅乗降客を商店街へ 町観光協会

7月27日、ふるさと会館で、松代中央線フリーマーケットの趣旨説明会が行われました。これは、町観光協会（樋口堅一会長）が、各集落区長や地域づくり団体に呼びかけて開催したものです。

観光協会では、「ほくほく線を利用してまつだい駅を利用する人が9万人。もっと地元の土産品を買ってもらいたい」。また、「来年からはじまる大地の芸術祭では、相当数の外国人が訪れることから、商店街の活性化も視野に入れていきたい」と、提案理由を述べていました。

当日は、約20人が、「最初は、できることから始めよう」、「なぜ、駅中央通りなのか」といった声があがるなど、活発な意見交換が行われていました。

詳しい内容については、企画振興課内観光協会事務局へ。（☎7 2220 内線48または7-3913）

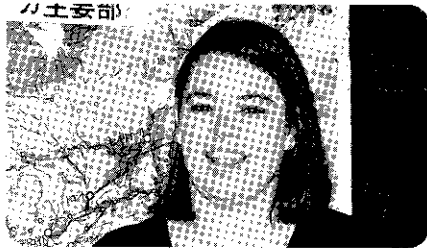


町道 松代中央線

新しいALT(英語指導助手)松代中松代高を紹介します

松代中

エミィ ジャンセンさん
(合衆国ミネソタ州生まれ)



州都ミネアポリスの隣りプライレイクで生まれました。冬は雪が120cm程積もります。とても寒いところです。

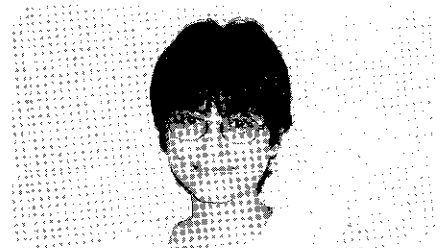
松代町の印象は、町の人がとても親切。また、景色もとても気に入っています。

松代は、雪が多いということです。私は雪が大好きです。クロカンやスノーボードもできます。生徒には、スノーシュー（かんじきに似たもの）を持ってきましたので、扱い方を教えようと思っています。

冬には、友人を松代に連れてくる計画です。雪の積もる冬が、今から楽しみです。（友人と冬の陣にも参加してください。来年の3月12日です。事務局）

松代高校

マリア アンパロさん
(合衆国インディアナ州生まれ)



インディアナ州は、暑いところですが、サラッとした気候です。11歳のときに、父が民間のボランティア活動をしていたので、コスタリカで暮らしたことがあります。前任者のマツトさんは、松代は小さなまちだといっていたので、コスタリカを想像していました。実際は、にぎやかなまちですね。今は、忙しくて淋しいなんて思っている暇ありません。それに、パソコンでメールのやりとりもできます。

生徒には、テキストと実際の会話での言いまわし方は違うことを、わたしの会話から学んでほしいと思っています。（写真を撮るときの「チーズ！」はアメリカも同じでした。すてきな笑顔が撮れました。事務局）

ふるさと会館情報 ほくほく線スタンプラリー開催中

スタンプ10個→ペア宿泊券5組10名 スタンプ7個→バンダイワンダースワン5名様 スタンプ5個→ふるさと小包36名様



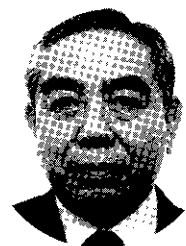
スタンプ設置施設



- 応募方法 応募用紙に、ほくほく線沿線市町村のスタンプ設置施設で係員にスタンプを押してもらいます。たまったスタンプの数に応じてコースを選んでいただき、必要事項を明記の上、郵送でご応募下さい。お一人様、各コース1枚のご応募とさせていただきます。
- 開催期間 1999年7月17日～9月5日まで（スタンプ設置施設の休業日・営業時間などにご注意ください。）
- 応募締切 1999年9月8日※ *当日消印有効
- 当選発表 厳正な抽選のうえ、当選者には賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

ほくほく線スタンプラリー'99夏のお問い合わせ先

ほくほく線沿線地域振興連絡協議会事務局（十日町市商工観光課内）
☎0257(57)3111代



人の輪広げ二十年 東京奴奈川会創立二十周年を祝う

小 塚 朝 毅

府中市在住（室野・中屋）

総勢150名が信濃町千日谷公会堂をうめつくして盛大に記念行事を行いました。

東京奴奈川会は、昭和54年1月28日に東京奴奈川校友会として発足し、平成3年に現在の名称に改めております。会の運営も初代会長の関谷徳次郎氏から7代目の牧田典夫氏まで受け継がれ、340名を上回る仲間が集る会に育ちました。

東京奴奈川会がこのように大きく発展できたのは、ふる里松代町の皆様や郷人会の皆様からいただいた限りなく温かなご支援によるものと心から感謝

いたしております。

会員にとりまして毎年この時期の総会が楽しい話合の場であり、旧知旧友との親睦をはかる場でもあります。今回の記念総会には実に大きな期待が寄せられておりました。実行委員会もその意をくみ取り、ふる里中心のイベントでこの日に備えました。

さて、記念総会当日の会場では至野神楽保存会の皆様の舞台一杯に繰り広げた獅子舞ときらびやかな若衆踊りでイベントの幕が切つて落され、その見事な演技に全員が感動しとめどない

拍手喝采で一気に盛り上がりました。

山菜料理と新潟銘酒に鼓舞を打ちながら、ふる里訛りの会話が一段と滑らかになり、笑いの渦が会場一杯に広がりました。

上の句「奴奈川会人の輪広げ二十年」にふる里の思い出などを織り込んで下の句の短歌には一〇〇首を超える投稿をいただき、厳選された秀作十八首が会場に一層の彩りを添えました。

舞踊やマジック等が皆を楽しませ豪華景品が山積みされた福引きに移る頃には会場の熱気も最高潮に達し、神のみぞ知るその結果は神楽保存会の皆様が多くを引き当てて、やんやの喝采で祝福を受けておりました。

恒例の盆踊りは広い舞台を所狭しとし、我もわれもの行列が微笑ましいほどで、昔踊った境内の思い出を今日の如くに話合っ

ている様子が伺えました。

賑やかで楽しかった記念総会も「故郷」の合唱でそれぞれのふる里を心の中にそっと暖め直し、別れ難い気持ちを万歳三唱で元気づけ、あちこちから呼びかける「たっしやでのー」、「らいな又会おうで」など、ふる里言葉で更なる健康と再会を誓い合う光景がまさしく私たちにふさわしいお開きでありました。



東京 だより

〈会則一部改正について〉

6/15の企画委員会において会則の一部改正の審議を行い下記事項を次回10/12の役員会に計ることにしました。

(1)新入会員初年度の会費について

現在はいつ人会しても当年度会費を全額払うことになっております。これを、1/1～6/30までの入会者は金額を、7/1～12/31までの入会者は、その半額を払う、に改める。(但し運用面は各地区毎とする)

(2)企画委員会の構成員について

当会の会議は現在総会(年1回)役員会(3回)企画委員会(5回)があります。この中、企画委員会の構成員は会長・副会長・副会長代行・正副幹事長および五委員会の委員長・副委員長に限っております。これを企画委員会が必要と認めた会員も企画委員の資格で参加できるよう改める。

〈ひろば〉

9/4～5 東京奴奈川会は、創立20周年記念事業の一環として故郷訪問旅行を行います。

㊤ 米持新吉 ☎0473-83-1831
・表参道新潟館ネスパスの行事
(☎03-5771-7711)

8/21～8/26

「松之山の四季 矢沢春夫写真展」

8/27～8/29

「越後パックス街道地ワイン、地ビール、地酒への誘い」「おつまみ付き試飲」が楽しめます。

花曇りの4月18日に開催された東京奴奈川会の創立20周年記念総会には、ふる里松代町から関谷町長を始めとした大勢の皆様をご来賓としてお迎えし、東京新潟県人会並びに東京松代会を始めとする日頃から交流の深い郷人会からも多数のご来賓にお出でいただき、私たちを含め

会場を飾った短歌

東京奴奈川会創立二十周年 記念総会



境内で踊った盆踊りを思い出し

文芸



短歌

梅雨暗れの今日は夏至なり
明日よりは日足細るをなぜか淋
しむ 本山 祖道

久々に帰省の娘らと螢狩り
梅雨の晴れ間の天の川見ゆ
市川 辰雄

螢袋、うるい花咲く路の辺に
利休風の雨降り注ぐ
柳 コメ

理のままならぬ事を記しおき
果たせ得ぬ夢を孫に託さん
若井 貞三

めくるめく直射に地肌を包み
隠し谷を埋めて青葉の繁る
野石 稔

しづみ句会

むぎ藁帽近づく笑顔は大学生
八千代
またたびの花の盛りの無人庵
辰風
串橋の揺るる真中ほど涼し
紅茶
万緑の底を流れてダムとなる
六花
梅漬けの白慢話もお茶受けに
とし子
老鶯に鳴きつつまれて円通寺
千登世
転作の棚田に咲きし独活の花
淡水
夏帯の似合ふ仲居の立ち居かな
枯水
遠蛙水の匂ひを伝へ来る
公鳴

蒲生句会

田の畔に俺のシャツ着て案山子
立つ 折人
もつれつつ花壇に遊ぶ夏の蝶
翔山
車道より引き戻されし花南瓜
耕山
離村せし廃屋跡の草の丈
泥水
西瓜胡座にボンゴ打つ貞似孫の脛
朴雪
さくらんぼ屋台に並ぶ千曲川
月日
鬼百合の一ならび咲く崖のふち
鐵堂
鉦先に夕日の光梅雨明ける
耕人
土薬を干す荒縄をたるませて
龍峰



今年も竹所会総会を盛況のうちに行了しました

竹所会代表幹事の武田勇さんより総
会時の写真と文をいただいています。
今年は、過去最高の74名出席し、5月
23日上野新潟県人会館で行ったそう
です。

来賓には、市川東京松代会会長ほか
17名。故郷から佐藤辰雄さん、五十嵐
行教さんも参加しました。

冬虫夏草



オオゼミダケ

『冬虫夏草』と書いて「トウチュウカソウ」と読みます。

ご存じの人も多いと思いますが、これは虫の体にキノコが生えたもので、中国では昔から冬は虫で夏は草になる、という意味でこんな呼び方をしてきたのです。

この写真はエゾゼミの幼虫が地上に出ようとしたところを、たまたまこのキノコの菌につかまってそのまま即死状態で殺されて、その死体に菌が蔓延してやがて繁殖のために胞子を飛ばす必要から「花」に相当するキノコになって地上に生えたものを偶然発見したもので「オオゼミダケ」という種類です。

このほかにもアリやカメムシ、トンボ、クモなどに寄生する種類もあり、中国ではある種類のガの幼虫に人工的に寄生させて

不老長寿の靈藥として販売しているとのこと。

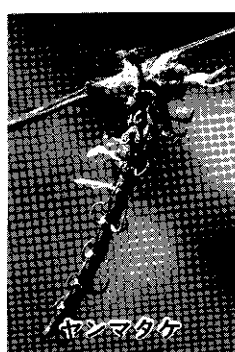
福島県の「かみ」出身で北魚沼郡湯之谷村にお住まいの西潟哲雄先生はこのような冬虫夏草に詳しくご研究されていますが、オニヤンマに寄生した「ヤンマダケ」という不気味な写真を送って下さいました。

この冬虫夏草の菌はバクカク菌といわれるものの仲間であり、いろいろなタイプがあるそうですが、死んだ昆虫などにつくのではなく、生きた昆虫などにとりつく、その虫は電気ショックを受けたようにその場で即死し、そこから菌の繁殖が始まるのだそうです。自然界は不思議な現象に満ちています。

こんなものを発見するのは偶然のたまものですが、「上をむいて歩こう」ではなく「下を向いて歩こう」という態度で観察すれば、あなたにも発見のチャンスがあるかと思えます。

心して観察眼を働かせて歩くことをお勧めいたします。

(写真と文 高橋八十八／参考写真 西潟哲雄氏)



住民側からみた「里創プラン」 活性化について意見交換

7月7日、松代町ライオンズクラブ（村山達三会長）が、ふるさと会館で、「里創の夢を語り合おう」と題して、里創プラン事業の意見交換会を行ないました。

当日は、町内のほか十日町からも駆けつけた参加者もあり、30人程が、住民の視点から熱心な話し合いを行いました。ボランティアとして里創プランに関わっている桜沢正一さん（松代）や柳健一さん（千年）からの活動報告を交え、「50万人が圏域を訪れる。アートを取り入れた商店街ギャラリーロードの計画もある。事業に、もっと関心をもって、魅力ある商店街づくりに結びつける必要がある」、「できることは何なのか、住民側から考えていこう」といった意見が出ました。そして、「里創プランを町の活性化に役立てていくことで、今後も計画に関わっていくこと」で意見集約し、終了しました。

事業をすすめる企画振興課では、松代で活動するアーティストがある程度決まる8月から、ギャラリーロードの説明会を行うことにしています。事業の中心となる商店街の皆さんや松代区の方を対象にした説明会を、まず行うとのことです。

このほか随時入ってくる情報を、広報で提供していくことにしています。

図書館 今月の新刊

「撃つ薔薇」

大沢在昌（光文社）

「障害をもつ子を

生むということ」

野辺明子他編集（中央法規）

「ザリガニ同盟」

作 今村章子（学研）

「こうまがうまれたよ」

絵 夏目尚吾

文 長崎源之助（童心社）

「赤ずきん」

絵 和歌山静子

文 立原えりか（講談社）



公園をデザインしてみませんか 企画振興課

新潟県では、松代高校付近からバイパスとなる部分と現在の国道が交差する付近に里創プラン事業と連携したポケットパークの整備を計画しています。

地域にあった親しみやすい公園づくりをすすめるために、住民から広くスタッフを募集しますので、奮ってご応募ください。

＜募集人員＞ 15名程度

＜対象＞ 特定しません

＜募集締切＞ 8月末日まで

＜申込方法＞ 住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記のうえ役

場企画振興課まで連絡ください。また、電話による申込も受け付けています。（☎02559-71

2220 内線41）

明るい家庭づくり運動モデル地区に 太平地区

（生涯学習課）



収穫祭にて

太平友の会（相沢勇会長）を中心に地域活動を行っている太平地区が、明るい家庭づくり運動推進モデル地区として指定されました。

県や町では、今年度から平成13年3月末までの2年間、地域ぐるみの活動に支援を行います。

不燃ごみの収集で爆発事故多発 スプレー缶等収集中止

（住民課）

◎次の品目については、収集を中止しました。

み収集所に出してください。

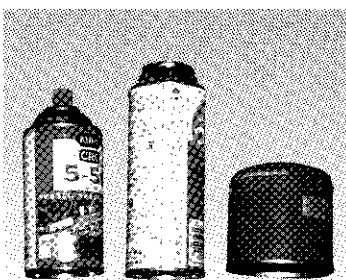
卓上コンロ用ガスカートリッジ・トーチ用ガスボンベ・各種スプレー缶

◎今後の対応

これらについては、一括次の日に収集します。

収集日：11月18日（木）

収集方法：前日までに不燃ご



対象となるもの

国民健康保険の保険証がむらさき色にかかります

9月1日から国民健康保険の保険証が新しいものにかかります。

今までの黄色のものからむらさき色のものへかわります。

各区長さんをとおして8月下旬に新しい保険証をお届けします。

その際、古い保険証は回収しますので、区長さんに渡してください。

なお、古い保険証は8月末で使えなくなりますのでご注意ください。

住民課国民健康保険係

全国人権擁護委員 連合会長表彰

石黒良泉さん
(室野・洞泉寺)

6月29日付けで、石黒良泉さんが、全国人権擁護委員連合会長表彰を受けられました。



多年にわたる人権擁護活動の功績が認められたものです。

《石黒良泉氏経歴》平成元年12月1日より人権擁護委員をつとめ、現在に至ります。

元気に夏休み、 室野子ども会

夏休み、室野子ども会では、洞泉寺で朝学習をします。これは、住職の石黒良泉さんが、行っているもので、今年で14年目になります。

取材の7月30日も、ラジオ体操を終えると、まず、座禅からはじまりました。足のしびれが切れないうちに読経。それから、児童は、それぞれ読書や課題学習。その後石黒さんが、中学生の作文を読んで聞かせます。この日は、「障害について」でした。小さい子にはむづかしそう。それでも、最後に怖いお話と称して石黒さんが読む本には、みんな身を乗り出して聞き入っていました。

全部で1時間ほどかけて行っています。毎日かかさず通う子ども達と相手をする石黒さん、夏バテをしないよう乗り切ってください。

それにしても、こうした貴重な体験ができる室野の子ども達がうらやましく思えました。(事務局)



石黒さん(右上)と子ども達

昨年の覇者(東芝柏崎)を破るのは誰だ 24時間耐久ルーマラソン参加者募集 第9回ロ・マン24inまつだい

日時 10月2日(土)正午～3日(日)正午
会場 松代町クロスカントリーコース

競技方法 1 チーム10名以内の選手で2.1*。コースの周回数を競います。

参加資格 高校生以上の一般アマチュア競技者に限る(男女不問)

参加料 1 チーム15,000円

申込期限 9月3日(金)必着

申込書の請求・問い合わせ

松代町総合体育館内

ロ・マン24inまつだい係宛

☎02559-7-3752

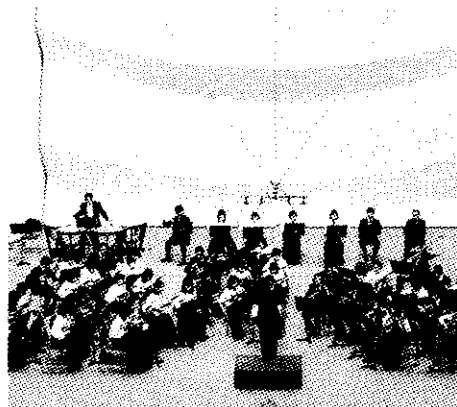
〒942-1526 東頸城郡松代町松代4008

その他 申し込みの際参加料納付してもらいます。詳しくは事務局まで。



昨年のスタートの様子

総勢70名の部員による演奏 早稲田大学マンドリン楽部演奏会 早稲田大学との交流20周年事業



日時 9月5日(土)

開場 午後6時00分

開演 午後6時30分

会場 松代町総合体育館

主な曲目 ポピュラー音楽やクラシックを演奏します。

入場料 無料です。どなたからでも楽しめます。駐車場に限りがありますので、電車等利用ください。なお、整理券は発行していません。

問い合わせ 松代町教育委員会

☎7-2301

主催 松代町・松代町教育委員会

後援 松代町文化協会

東頸城ふるさと見て歩記 ⑬



夏休みの
一日は
安塚で決まり
(安塚町)

サマリーイベント

—ぐるり安塚小さな旅—

安塚町全体がまるごとイベント芸術館となる夏の企画も今年で3年目。今年はイベント期間が8月7日～22日の16日間、催しは盛りだくさん。一日では遊びきれない安塚の夏休み。来なければ、損すること請合です。

観る

会場	内容	期間
雪だるま温泉「雪の湯」	「五月光」一座公演	8月1日～29日
キュービッドパレイ	林家木久蔵ふるさと絵巻展	8月14日
町民会館・旧JA小黒支所	第2回ゆきの国収蔵庫美術展	8月7日～21日
キュービッドパレイ	まちがど美術展	8月7日～21日

遊ぶ

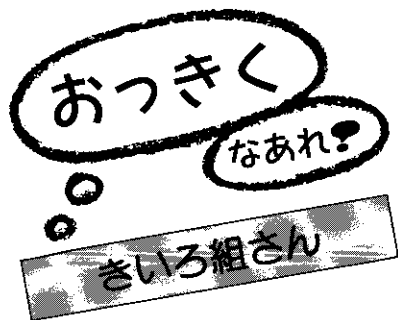
キュービッドパレイ	林家木久蔵講演会	8月14日
キュービッドパレイ	大盆踊り大会	8月14日
安塚町町民会館	やすづか商業元気まつり	8月6日～8日
	雪だるま高原スケッチ大会	8月7日

食べる

キュービッドパレイ	商業部トーク＆ランチパーティー	8月22日
キュービッドパレイ	木久蔵ラーメンまつり	8月7日～21日
町内飲食店	わが店の味自慢	8月7日～22日
Aコープ安塚店	ふるさとやすづか五穀豊稔祭	8月13日

◆問い合わせ 町観光協会 ☎7-2430 / 役場雪のまち総合課 ☎2-20003

町内各地の施設や一般の車庫・土蔵がギャラリーに大変身。様々な企画展も開催します。オープン10周年のキュービッドパレイでは、「雪だるま高原」誕生記念イベントも楽しめます。林家木久蔵師匠も「安塚町に笑点をしばって参ります」。



武田 彩^{あやちん}

4 歳

太平・まつしろや



南雲 優一^{ゆういち}くん

4 歳

室野・おきのや



小堺 里恵^{りえちゃん}

4 歳

蓬平・まつみね

米 計画外流通米の販売 には届出が必要です

生産者が消費者や販売業者に直接米を販売するときは、あらかじめ食糧事務所に届出をしてください。

米の流通量や実態把握をとおして、米の需給と価格の安定を図る基礎とします。なお、届出用紙は、農協や農林課窓口にあります。

◇提出先及び問い合わせ

新潟食糧事務所十日町支所
(☎0257-57-6521・

☎0257-57-6522)

司法書士と社会福祉士 によるシルバー110番

高齢者、知的障害者、精神障害者、身体障害者の方の不動産や相続、遺言、贈与などに関わる問題および介護、福祉に関わる問題について、司法書士と社会福祉士が、電話による相談を受け付けています。

◇日時 9月12日(日) 午前10時から午後4時まで

◇電話番号 025-226-5083

◇その他 相談は無料。秘密は厳守します。

案内 点字図書館主催 ～誰でも参加できる点字通信講座

◇対象 点字を全く知らない方を対象に、テキストに沿って点字を打って頂き、郵送されたものを添削して送り返す方式で、点字をマスターするところまでご指導します。

◇期間 10月1日から1年間
(期間中何回でも添削を受けることができます。)

◇費用 12,800円

(点字指導料、点字練習器、用紙および補助教材を含む)

◇申込期限 9月25日(土)

◇その他 点字図書館主催のものなので、全国どこから参加しても郵送料は無料です。

ボランティアを育成する講座で、活動の相談にも応じています。

◇問い合わせ及び申込み先

市川点字図書館通信部

(☎・☎03-5439-6772)

〒108-0014 港区芝4-7-6

(尾家ビル1階)

子どもの広場

開催 妙高光と風の フェスティバル99

国立妙高少年自然の家の施設を一般に開放します。また、参加各国の文化や遊びを通して交流を深めることを目的に開催します。

◇主な催し 星座や野鳥観察、野外活動、コンサート等

◇日時 9月25日(土)～26日(日)

◇会場 国立妙高自然の家

◇対象 家族や団体グループ等どなたでも参加できます。

◇定員 本館200名、キャンプ200名(高校生以下は保護者同伴)

◇参加費 小学生以下 1,670円
中学生以上 1,710円

◇その他 日帰り参加は自由(小学4年生以下は保護者同伴)

◇申込み及び問い合わせ

国立妙高少年自然の家

(☎0255-82-4321)

〒949-2335 中頸城郡妙高村関山
63223-2

募集 自然に親しむ 親子のつどい

◇日時 9月25日(土)～26日(日)

◇会場 新潟県少年自然の家

◇対象 小中学生とその親100名

◇募集期間 8月27日(金)～9月2日(木) 午前9時～午後5時

◇申込方法 電話により申込む

◇参加費 3,700円

◇申込み及び問い合わせ先

新潟県少年自然の家

(☎0254-46-2224)

夏休み親子電気教室

◇日時 8月20日(金) 10時～

◇会場 東北電力十日町営業所

◇内容 調理実習(スコーンとジャム)午後1時～奥津津発電所見学

◇対象 親子(子どもは小学生)

◇受講料 500円

◇定員 9組

◇用意するもの エプロン

◇申込先 十日町営業所

リージョンプラザ上越 上越科学館

8月無休

◇日時

24・26日 標本教室
午前9時～

22・29日 雪の結晶のふしぎ
午後1時～3回実
施(☎0255-44-2122)

高柳ガルル 子ども自然王国

工作広場・子ども自然ミュージアム毎日開催

◇時間 午前9時30分～

◇受付 受付・料金はフロント
(☎0257-41-3355)

お知らせ

開催 第10回消防ひろば

- ◇日時 9月15日(敬老の日)
午前10時～午後3時
- ◇会場 十日町市民会館駐車場
(雨天隣りの市民体育館)

建築・住宅相談窓口 開設しました

工事契約や融資のことなど、よりよい住宅やまちづくりのために、わからないことは何でも相談してください(電話による相談も受け付けています)いずれも無料。

建築士による相談

- ◇日時 月曜～金曜
午前9時～午後4時

弁護士による相談

- ◇日時 8月25日(水)
午後1時～4時

◇会場及び問い合わせ

(財)新潟県建築住宅センター
(☎025-283-0851)

〒950-0965 新潟市新光町11-7
新潟光ビル2階

新潟県司法書士会

第3回

「司法書士と社会福祉士 によるシルバー110番」

高齢の方や障害を持っている人の不動産や相続に関わる問題について電話による相談を受け付けますので、ご利用ください。

- ◇日時 9月12日(日)
午前10時～午後4時まで
☎025-226-5083

中小企業の設備近代化を バックアップ

設備近代化資金貸付制度

設備を導入する際代金の50%を県が無利子にする制度です。

- ◇利用限度額 100～4,000万円
◇償還期間 1年据置4年

設備貸与制度

希望設備を公社がかかわって購入し、分割販売またはリースするものです。

- ◇利用限度額 100万円～6,000万円
◇貸与期間 3年(分割4年半)～7年
◇利息等 分割2.75%～リース1.408%～
◇問い合わせ先 (財)新潟県中小企業 (☎025-285-0025)

県職員(看護職員)採用について

- ◇職種 助産婦、看護婦(士)
◇受験資格 いずれも昭和45年4月2日以降に生まれた人で該当する免許取得者または12年度免許取得見込みのある人
◇試験日 9月26日(日)、県庁を予定。合格者に10月下旬通知。2次試験は11月予定
◇受付期間 8月17日～9月6日まで
◇受験手続等問い合わせ先 病院局総務課職員係
(☎025-285-5511 内線3665か3669)

下水道設備工事責任技術者認定試験と講習会の実施について

受験講習及び受験申込

- ◇受付期間 9月6日(月)～9月17日(金)
◇受付場所 松代町建設課下水道係 (☎02559-7-2220内線44)

受験講習

- ◇日時 11月12日(金) 午後1時
◇会場 上越商工会館
◇受講料 5,000円

認定試験

- ◇日時 11月21日(日) 午前10時

- ◇会場 上越地域職業訓練センター

- ◇受験料 3,000円

県立上越テクノスクール 入校説明会

- ◇日時 8月19日(木)～20日(金)
午後1時30分～3時

◇会場及び問い合わせ

上越テクノスクール

(☎0255-45-2190)申込不要

税理士会高田支部 税務相談所の開設

- ◇期日 8月18日(水)
9月1日(木)
- ◇会場 税理士会高田支部
- ◇その他 あらかじめ電話で予約が必要です。
税理士会高田支部
(☎0255-23-6557)
上越市本町5-2-3
アイコービル2階

行方不明者を捜す相談 所の開設について

家族や知り合いで行方がわからなくなり、消息が知れず、困っている方は、相談においでください。

- ◇期間 8月末まで
◇問い合わせ 県警本部鑑識課
(☎025-285-0110内線4641)

防衛庁学生募集中

防衛庁では次のとおり各種学生を募集しています。

◇お問い合わせ

自衛隊 新潟地方連絡部 高田募集事務所(☎0255-23-5519)

募集項目・志願票(願書)・パンフレット等あります。

募集種目	資格	受付期間
防衛大学校学生	推薦(男・女) 高卒(見込)21歳未満の者 高等学校長の推薦等、別途資格が必要。	9月6日 ～ 9月10日
	一般(男・女) 高卒(見込) 21歳未満の者	9月14日 ～ 10月13日
防衛医科大学校学生(男・女)	高卒(見込) 21歳未満の者	9月14日 ～ 10月13日
看護学生(女子のみ)	高卒(見込) 21歳未満の女子	9月14日 ～ 10月13日

戸籍の窓口

(6月26日～7月25日)

元気な良い子に(出生)

山本 ^{サクラ}桜 ^{ハコ}浩一郎・清子さん
(犬伏・女の子・とくぜん)

ご冥福をお祈りします(死亡)

牧田 昌一さん 74歳
(峠・こざわ)

建物に注意



松代本町通りのフードセンター建物が、大変危険な状態になっています。この建物については、安塚土木事務所および安塚警察署と町役場で対策を協議しています。

建物の壁、コンクリートの破片などの落下物が予想されますので、子どもが建物に近づかないよう家庭でも注意してください。



市川 勝也 さん (松代・まいさか)

私の指

まいどお騒がせしております。
(附)松城工務店のホープ、市川勝也でございます。

わたしは、高校卒業後、すぐこの松城工務店に入社しました。ところが、入社3年目のこの春、3月20日、7時50分頃左手の中指第1関節ちよつと上のところから、指を切り落としてしまいました。血はさほど大量に出ませんでした。切断された指が

らは骨がむきだしになり、肉はボロボロ。突然のことに、頭の中は真っ白。

その後、何とか十日町病院に行きました。わたしの他にも緊急患者の人が何人かいました。中でも一人、意識不明の重体の人がいて、結局自分の手術の番はあとになってしまいました。不安な面持ちで、長い時間待った気がしました。そして、10時50分頃、ようやく手術をしてもらいました。

指を切断してから3日間、あれこれ悩み、わたしは眠れませんでした。

その「事件」から一ヶ月半して、ようやくわたしは仕事に復帰することができました。その

ときの会社の人達の第一声は、「おまえ、指どうしたの。」などどぶざけるにも限度がありません。最悪の連中です。

指を切断してしまい、一度は大工をやめてしまおうとまで思いましたが、この仕事をやめてもわたしに残るものなど何もないし、親方やほかの社員の方さんにも、まだ、今まで借りた恩も返すこともできないですし。この仕事、結構面白いです。最後にまだ暑い日が続きますが、皆さん体に気をつけてください。

決して、わたしのようにならないよう、仕事には注意してください。

図書館だより

開館 平日午後1時～6時

休日午前10時～午後5時

休館日 月曜と火曜

電話 7-2615



先日、八王子子との交流に汗する地元の方は、「自分の地域はいいものだ、そのことを伝えたいという思いだけでした」と話していました。そして、活動とおして「最近、地域の中であいさつを交わす子が増えてきて」と、うれしそうに話していました。また、「交流をきっかけに地域を見直すいい材料になりました。学校があつたころ、自分の子どもがこの学校でお世話になったこと、学校をとおして二つの地区が結びついてたことを、学校がなくなってしまうと感じました。今また、新しい「交流」というかたちで、八王子の子ども達といっしょに地元の子が育つことを喜んでいきます。そして、わたし自身もいろいろ考えるきっかけになりました」と話していました。大切なのは、地域住民が地域に関心を持つことではないでしょうか。

編集後記

男	2,185人	(±0人)
女	2,241人	(+1人)
計	4,426人	(+1人)
世帯数	1,437世帯	(+1世帯)

出生	1人	死亡	1人
転入	4人	転出	3人

(11年7月末日現在)

人口の動き